

令和3年12月8日

関係各位殿

公益財団法人
宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団
理事長 菊地 永祐
(公印省略)

第15回伊豆沼・内沼研究集会の開催について（通知）

我が国の湿地環境は近年著しく減少・劣化しており、その保全の重要性が指摘されています。このような中、ラムサール条約湿地である伊豆沼・内沼は、国内最大級のガン・カモ類の越冬地として知られており、地域住民、行政、研究者等の関係者が一体となり、湿地環境の保全や自然保護思想の普及などに取り組んでまいりました。

湿地の保全活動は、保全対策の基礎となる調査・研究データに基づき、取り組むことが重要です。当財団では、伊豆沼・内沼を中心とした湿地に関する調査研究の成果を発表し、伊豆沼への知見の深化と情報交換を目的とした「伊豆沼・内沼研究集会」を、平成18年度より毎年開催しております。湿地を研究されている皆様におかれましては、発表・参加についてご検討下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。なお、研究集会の開催にあたり、**今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、参加者は先着20名までに限定させて頂き、発表者の皆様には下記の会場において研究発表を行っていただく予定にしております。**また、当日はオンライン配信による研究発表の視聴や質疑応答を予定しておりますので、**参加願います（URLは後程財団HPに掲載致します）。**詳細につきましては、下記の「第15回伊豆沼・内沼研究集会 発表方法」をご参考下さい。

なお、研究集会終了後の懇親会につきましては、**感染防止拡大の観点から本年度は中止とさせて頂きますので、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。**

記

- | | | |
|-------------|---|--|
| 1 日 | 時 | 令和3年2月5日（土）13時30分～17時00分。 |
| 2 場 | 所 | 宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター研修室。 |
| 3 主 | 催 | （公財）宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団。 |
| 4 発表様式 | | 発表12分、質疑応答3分、合計10題程度を予定。 |
| 5 申込み期限 | | 令和4年1月14日（金）。 |
| 6 要旨・スライド切り | | 令和4年1月21日（金）。 |
| 7 その他 | | ご希望された方は、駅までお迎えにあがります（くりこま高原駅、新田駅）。なお、昨今の状況を鑑み、懇親会は中止とさせて頂きます。 |